

54年度各会計決算を認定

55年度予算補正は56億円



9月定例会

同和对策事業特別措置法の強化・延長を決議

昭和五十五年九月北九州市議会定例会を、九月二十二日から二十日の会期で開き、十月十一日に終わりました。

今議会に市長から提出された議案の主なもの、五十四年度北九州市各会計決算議案二十六件、条例の改正等議案九件、五十五年の補正予算議案四件などでした。

九月二十六日の本会議において五人の議員が市長提出議案について質疑を行った後、決算議案を決算特別委員会へ、その他の議案をそれぞれ所管の常任委員会へ付託し、慎重かつ熱心に審査しました。

その結果、決算議案を十月七日の本会議で認定し、また、補正予算、条例改正等の議案を十一日の本会議で可決しました。

一方、議員提出議案は十九件でそのうち同和对策事業特別措置法の強化延長に関する決議など八件を可決し、十一件を否決しました。

昭和54年度 北九州市決算状況

区 分	一 般 会 計		企 業 会 計 (上水道など4会計)	
	歳入	歳出	歳入	歳出
歳入 ①	2,931億9,003万円	2,053億8,548万円	収 入 ①	411億5,458万円
歳出 ②	2,853億4,913万円	2,006億 440万円	支 出 ②	431億7,532万円
形式収支 ①-②=③	78億4,090万円	47億8,108万円	差 引 収 支 ① - ② = ③	△ 20億2,074万円
繰越すべ き財源 ④	29億1,801万円	3億 748万円	補てん財源等④	14億8,662万円
実質収支 ③ - ④	49億2,289万円	44億7,360万円	単年度実質収支 ③ - ④	△ 5億3,412万円

市長提出
決まった主なもの

- ◎ 道路、河川、公園、学校、福祉施設等の整備や、災害復旧事業にあてるために増額補正するもの
- 合 計 五六億二、六九六万円
- 一般会計 五四億五三三万円
- 普通特別会計 二億二、一六三万円
- ◎ 北九州市国民健康保険条例の一部改正
- 助産費を六万円から八万円に、葬祭費を二万円から三万円にそれぞれ引き上げるもの
- ◎ 土地の取得
- 本城緑地保全地区用地として買い入れるもの
- ◎ モノレール片野停留場上部工事請負契約締結 四億五〇〇万円
- ◎ 引野小学校建築工事請負契約締結 契約金額 三億二、八五〇万円
- 議 員 提 出
- ◎ 地方行政制度の抜本的改革に関する意見書
- ◎ ローカルエネルギーの開発に関する意見書
- ◎ 国際障害者年に対応する施策充実に関する意見書
- ◎ 雇用対策の一層の充実を要望する意見書
- ◎ 藍島及び馬島の電話事情の改善に関する決議
- ◎ 長雨・冷夏による農作物被害対策に関する決議
- ◎ 災害対策の促進を求める決議
- ◎ 同和对策事業特別措置法の強化延長に関する決議

◎ 昭和五十五年北九州市補正予

質疑 応答



九月二十六日から三日間、本会議で十八人の議員が、市長から提出された議案に対する質疑や、市政一般に対する質問を行いました。その中から主なものを取り上げました。

決算の内容

一般 会計 49億円の黒字

議員 五十四年度一般会計の決算は、実質収支で四十九億二千二百八十九万円の大幅な黒字となつています。これは、堅実な財政運営に努力したためといっています。が、切実な市民要望を実現できなかった結果ではありませんか。

市長 五十四年度は、新中期計画の最終年度であり、その目標達成にはかなりの実績を上げています。このため、黒字がそのまま市民サービスの低下にはならないと思います。

黒字の主な原因は、予想以上の市税等の伸びがあったためで、この増収分は、今後の新・新中期計画の実行に必要な財源にあてていきます。

自主納税の推進を

議員 十九億二千九百万円の市税が徴収されていますが、市税は歳入の根幹をなすものであり、市税の確保については、一層の改善が必要ではありませんか。

市長 市税の確保については、自主納税制度の推進による納税指

をめぐって

導に努め、また滞納者については、実態に応じた滞納整理を厳正かつ適切に行っていく予定です。

これからの、大きな収入未済額を出すことがないように努力します。

借金財政の解消を

議員 五十四年度の市債の償還額は、三百三十七億九千七百万円で、年々増加の一途をたどっています。五十四年度末の市債の現在高、いわゆる借金は、三千四百三十三億円にも達し、市民一人当りに換算すれば約三十四万円にもなります。

今後、この借金の返済は、市政執行上大きな支障をきたすことになりませんか。

市長 市民一人当りの現債高は政令指定都市の中期であり、特に財政上危険な状態とはいえません。しかし、長期にわたる市債の増加は、財政硬直化の原因になるため十分な警戒をしていきます。

また、財政運営により生じた剰余金は、繰り上げて市債の償還にあてるなどして借金財政の解消に努めていきます。

民有地災害の対応は

議員 異常な長雨によって各地で災害が発生し、まだ完全復旧されていません。被害の多くが民有地災害とのことですが、被害を受けた人やそれにより被害のおそれのある人達は、民有地災害だからといって放置されることは割り切れない気持ではないでしょうか。

特に造成地の災害では、行政がもつと厳しく指導監督していただければと思われる場所もあります。

今後の災害対策について、おたずねします。

市長 七月から八月にかけての長雨は記録的なもので、各地で被害が起り、しかも、民有地災害が非常に多く、同情すべきものがたくさんありますが、手を出すわけにいかない事情があり困っています。



せん。許可にあたっては、相当慎重に審査しています。

今回の宅地災害箇所は、大部分が法的規制制度以前に造成されたものです。

民有地災害の復旧については、融資制度等を利用していただくとともに、技術的な面で相談があれば十分に対応していきます。また、二次災害のおそれのある所は、防災融資相談や改善勧告等により二次災害が起らないようにしたいと考えています。

現在、原因がわからず、大学の先生にお願いして、原因を究明している所もいくつかあり、調査の結果、市に手落ちがあるということがあるとすれば、十分な補償をしなくてはならないと考えています。

国際障害者年のとりくみは

議員 国際連合は、一九八一年を国際障害者年とすることを全会一致で決議しました。

我が国も、総理大臣を本部長とする、国際障害者年推進本部を設置し、その推進を図っています。本市においては、どのような準備をしていますか。

市長 国際障害者年を考えるつどいを組織し、十一月中に提言をいただくことになっています。この中で、新しい提案が行われると思いますので、それを受けて取り組んでいきたいと思っています。

国際障害者年の計画は、十年間の長期的なもので、最初の四年間が本市の新・新中期計画と重なっております。従って、この新・新

中期計画の中の障害福祉対策を国際障害者年の行動計画の中で、大きく推進していきたいと考えています。

議員 国際障害者年を考えるつどいの構成、活動状況はどうなっていますか。

民生局長 構成については、心身障害者団体等関係団体、ボランティアなどの代表者、学識経験者など三十人からなっています。

これまで四回会議が開かれており、今回の会議で最後のまとめがなされ提言をいただくことになっています。

姉妹都市と動物交換を

議員 友好都市である旅大市との動物交換は、市民から大変喜ばれています。

また、姉妹都市であるアメリカのタコマ市とノーフォーク市からも、動物交換の話があつてっていると聞いていますが、どのようになっていますか。

市長 動物交換は、姉妹都市との友好に役立つ事業だと思えます。タコマ市からは、日本のイリオモテヤマネコとラッコの交換の話があつておられますが、イリオモテヤマネコは数少ない貴重な動物であり、ラッコは海に面した場所であれば飼育がむづかしいことから、現在検討しているところです。

また、ノーフォーク市の市営動物園と到津遊園との間で、姉妹動物園の締結の話が進んでいます。実現すれば、市民の楽しみも増すものと期待しています。

近く駅舎改築案

黒崎駅

議員 黒崎駅は、老朽化が進み黒崎メイトの出現により、一層おそまつなものとなっております。

駅舎の改築については、改築期成会により国鉄側に具体的な要求がされているようですが、国鉄の赤字財政の現況と、駅舎の改築に自治体の補助は認めないという自治省の通達などから、見通しが困難とも言われていますが、その後経過をおたずねします。

市長 黒崎駅は、全国の駅の老朽度からみて、まだ建て替える時期ではないとのことですが、

しかし、再開発で新しく変わった町と駅舎はマッチせず、乗降客も現在の駅舎を建て替えた昭和二十七年頃に比べると、激増しています。

このため、国鉄は、橋上駅にして最小限度の改築をするという考え方で、近く改築案と費用見積りを示すことになっています。それを見たいので、地元の期成会とも相談したいと思います。

また、改築費については、すべて地元で任せるのではなく、市としても若干の費用負担をする方向で、自治省と相談したいと思っています。

ゆとりある教育

活用の指導

議員 来年度から中学校で、新学習指導要領が実施されます。

これは、いわゆるゆとりある教育へ向けてのものでありますが、

教育委員会としては、このゆとりの時間の活用を、どのように指導されるのかおたずねします。

教育長 今回の学習指導要領の改訂により、小学校と同じく中学校でも年間、百四十時間の授業時間の削減があります。

この削減によって生じた、いわゆるゆとりの時間については、それぞれの学校において、創意ある教育活動を展開する時間ということで、位置づけていただきたいと思っています。

教育委員会の方から、一律にこういう形をしないという方向にはなりません、望ましい方向になるよう努めます。

今年、小学校で行われているゆとりの時間には、地域の自然や文化に親しむといった体験的な活動や、飼育、栽培、環境美化、整備などの勤労生産的な活動などいろいろな活動があります。

この経験や、現在のゆとりの時間についての研究を委嘱している中学校二校の研究成果を、各校に還元するなどして、円滑な実施に向



けて努力していきたいと思っています。

新空港問題の見直し

議員 運輸省は、第四次空港整備五か年計画に新北九州空港の設計調査費を計上すると発表しています。

この段階では、まだ早急かもしませんが、新空港の建設着工及び開港の時期をどのように考えていますか。

市長 新空港の設計調査費が正式に決定されるには、第四次空港整備五か年計画が来年度の国家予算に認められなければなりません。

このため、この五か年計画が来年度からスタートできるように強力に運動を展開しているところで

す。新空港の建設着工は、五か年計画の期間内に行われるように働きかけてまいります。

また、開港時期については、現空港で使用されているYS11型機が使用中止されると思われる六十五年頃を目標にしています。

議員 新空港の位置は、航空局で行っている空域調整の調査結果が出なければ決定しないと思えますが、現在、荻田町沖合いに海上公園として建設されている土砂処分場を利用する考えはありませんか。

市長 この土砂処分場は、新空港の候補地の一つではあると思えます。

しかし、この土砂処分場の埋立免許を受けた経緯や空域調整の問題もあり、今この処分場を公式に

新空港の候補地として取り上げることが難しいと思います。



現北九州空港

自然史博物館の開設

議員 八幡駅ビル内に、仮設で自然史博物館を開設する経費が、補正予算に計上されていますが、博物館は、山田弾薬庫跡地内に建設するという基本方針に変わりはありませんか。

また、跡地の返還が非常に難しいのではとの観測もありますが、見直しはいかがですか。

早期返還が難しいのであれば、博物館の建設についてのみ、跡地の一時使用を認めてもらうことはできませんか。

市長 跡地は、自然史博物館建設を折り込んだ広域公園として利用するとの案を作成し、北九州財務局に提出しましたが、財務局の統廃合問題が起き、すぐにこの問題を取り上げる状態ではないようです。

しかし、必ず早急に払下げを實現し、そこに博物館を建設すると

いう考えは変えていませんし、見込みがないからあきらめるということもありません。

一時使用については、緊急性があるとは認めたいなどの理由で断わられました。

開設準備室では、貴重な資料がほとんど収集されていますが、仮住まいなので分散保管されたり、いろいろと支障がでています。

貴重な標本を早く公開展示し、十分な活動を行うためにも、仮設ではあるが八幡駅ビル内に開設することにしました。

設置基準の見直しを

一年長者いこいの家

議員 年長者いこいの家は既に百か所を超えましたが、持たない地域からの要望が高まっています。

現在の設置基準では、二千平方メートル以上の公園に建設することになっていますが、これでは公園のない地域の皆さんの切実な要望にこたえることができません。

新しい基準を設定する考えはありますか。

市長 年長者いこいの家の建設は、これまで一定の歯止めをかける意味で、二千平方メートル以上の公園に建設してきました。

その結果、最近では非常に近接した所ができるなど、全市的にはバランスがとれなくなってきました。

今年度末には、百二十五か所に達する予定で、新・新中期計画の目標百五十か所に近づいていますので、設置基準の見直しをいたします。

なくせ空きかん公害

議員 空きかんや空きびんの散乱が著しく、町の美化の妨げになっています。

京都市では空きかんの一掃をめざし、空きかん回収条例を制定する動きがありますが、これはアメリカのオレゴン州のデポジット制度を参考にしたものです。

本市も職員の海外研修で視察してきたものと思いますが、どのように考えていますか。

市長 毎年、姉妹都市であるアメリカのタコマ市とノーフォーク市に、清掃事業局職員を業務の参考にするため、研修を兼ねて視察させています。

今年、オレゴン州にも行きましたが、短い日程のため、デポジット制度の運用の実態を見学することができませんでしたので、次の機会に勉強させたいと思います。

京都市では、来年二月の議会に空きかん回収条例を提案するということで、検討しているようです。

これは、かんジュースなどを買うときに、かん代を上乗せして販売し、後で空きかんを店に持っていくと、かん代を返すというシステムで考えているようです。

本市としても、京都市の様子を見ながら判断していきたいと思っています。

工事対策に万全を

—モノレール建設—

議員 西鉄北方線沿線の下水道工事で、非常な交通混雑をきたし、都心への通勤、通学に多大な不便

をかけます。

今後、モノレール工事が行われませんが、そうすれば現在以上の混雑や、予想されない種々の問題が発生することが考えられます。

これにどのように対処していくのかおたずねします。

市長 道路の中で工事を行うため、相当交通量を削減せざるを得ないし、工事の過程で、市民に種々の迷惑をかけるようなことにならざるをえない面があります。

騒音や交通混雑などの問題で、極力迷惑を大きくしないよう配慮していきたいと考えています。

特に、交通混雑の問題については、警察当局と十分に連絡をとりながら、工事を進めたいと考えています。

また、工事の本格化に伴い、都市モノレール小倉線建設工事対策協議会（仮称）を設け、関係機関との間で、工事施行のための協議を十分に行っていく考えです。

人事紹介

九月定例会で、次の方々が決まりました。（敬称略）

人権擁護委員候補者

二村 正巳・辻 正喜

西村 法昭・井上 重人

奥田 笑子・小出 健児

相川 定・市野 一郎

北九州市固定資産評価審査委員会委員

芳賀 辰寿・畑中 貞一

柿西 悟・柴田 明

権藤 清・田中 正弘

決算特別委員会の審議

九月二十六日に設置された決算特別委員会は、第一分科会（総務財政、民生水道関係）、第二分科会（公害衛生、経済港湾関係）、第三分科会（建設交通、文教建築関係）に分かれて、六日間にわたって開かれました。

この委員会では、五十四年度予算は適正に執行されたか、行政効果は十分であったかを審査するため、当局との間に、活発な質疑応答が行われました。

その中から主なものを取り上げました。

であり、問題はありませんか。

当局 環境アセスメントの基準は厳しくなっており、国、民間にかかわらず、その調査結果に問題はないと思います。市はこれらの調査資料のうち、不足したものを補完的に調査していきます。

委員 備蓄基地で、万一事故が起った場合、責任はどこが負うのですか。

当局 備蓄基地の建設、管理は、第三セクターを設けて行いますが、事故が発生した場合の責任は最終的に石油公団が負うことになりました。この責任体制を明確にするため、県、市、公団の三者で協議し、文書で取り決めたいと思います。

監視体制を強化

第二分科会 —不法投棄対策—

委員 廃棄物の不法投棄が摘発される事件が後をたたないが、市はどのように対処するのですか。

このため、五十二年度に策定した、産業廃棄物処理計画を抜本的に見直しはどうですか。

当局 不法投棄対策としては、排出者及び処理業者に、廃棄物に

対する考え方や処理方法を指導するとともに、監視体制を強化していきたいと思えます。

産業廃棄物処理計画は、本市における廃棄物の総量からみて、エネルギー政策転換に伴う石炭の大量使用が行われない限り、六十年程度まで廃棄物の処理は可能であり、また、不法投棄対策を直接にとらえたものでもないの見直し計画はありませぬ。

不適排水管の点検を

第三分科会 —家庭の下水道管—

委員 下水道の分流地区では、大雨の時に下流のマンホールから汚水があふれることがあります。

この原因は、雨水を下水道管に流し込んでいる家庭があるからだと考えられます。関係地区について年次計画をたて、実態調査を行い、これを改善する必要があります。ではないかおたずねします。

また、市内各所に常に浸水する地区がありますが、この解消計画をどのように考えていますか。

当局 分流式の下水道では、雨水を下水道管に流しますと、ご指摘のような状態が起りますので、問題の生じている地域から調査を行い、このようなことのないように、公共下水道の正しい利用について指導し、改善を図っていきたく考えています。

浸水地区につきましては、現在調査を進めています。来年度から始まる国の第五次下水道整備五年計画の中で、計画的にこの対策に取り組み解消に努めてまいります。



決算特別委員会の審査風景

第一分科会

環境アセスメントは十分か —白島石油備蓄基地—

委員 白島石油備蓄基地の建設に伴う環境アセスメントについて、県は問題はないとの報告を行っていますが、この報告は民間備蓄構想のときの調査をもとにしたもの